

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp
第 7 号 平成 30 年 10 月 25 日発行



天高く 秋の実りの 学芸会

校長 松井 操人

10/20(土)は本校の学芸会でした。たくさんの来賓・保護者・地域の方がお越し下さり、児童の発表に大きな拍手や声援をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

児童会テーマ「一人一人がかがやき、清水小に感動というまほうをとどけよう！」のもと、学級・学年ごとに劇や合唱、器楽演奏に取り組み、本番では練習の成果を十二分に発揮しました。相手(観衆)を意識した発声、息の合った歌声や演奏、見ごたえのある演技などに触れ、私も魔法にかけられた一人です。子どもたちの努力に拍手を送るとともに、ご家庭でのご協力で改めて感謝申し上げます。

さて、学芸会のプログラムには「学校長挨拶」があるのですが、聞き逃している方が多いと思うので、補足しながら以下に掲載いたします。

1 学芸会を無事に開催できました

胆振東部地震の影響で、学芸会の開催のめどがまだ立っていない小学校もあります。被害に遭われた皆様にお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復旧をお祈りいたします。

2 「賞賛の三重奏」で子どもの自己有用感・自己肯定感が高まります

発表後の観客席からの拍手(賞賛①)、教室に戻って担任からのねぎらい(賞賛②)、家に帰ってからの保護者からの褒め言葉(賞賛③)によって、子どもたちは「やってよかった」と思い、それが「次もがんばろう」という意欲につながります。

3 11月から「親子読書」の取組を始めるので、ご協力をお願いします

子どもたちには読書を奨励していますが、11月から市の取組として昨年に引き続き「親子読書」を推進します。本校では、期間中、子どもたちにいくつかのミッションを与えようと考えていますが、その中の一つに「保護者お薦めの本を読む」というのがあります。お子さんから尋ねられたらすぐに紹介できるよう、お薦めの本を考えておいてください。そして、読み終わったら「どこがおもしろかった?」などと話題にしてみてください。



迫真の演技で観衆をわかせた6年生。演技を終え、みんなすがすがしい表情です。

以上、3点です。先日のNHKの番組で「健康寿命を延ばすには、運動よりも食事よりも読書が大事」という結果をAI(人工知能)がはじきだしたと紹介されていたそうです。

(「NHK オンライン」<http://www.nhk.or.jp/lifestyle/article/detail/00692.html>より)
子どもたちはもちろん、保護者の皆様にもよい本との出会いがあることを願っています。